



夏休みイベントに出展し、NUMOや地層処分について紹介しました。

「経済産業省こどもデー」等、東京都内およびその近郊で夏休みイベントに出展しました。地層処分に関するポスターや模型の展示、緩衝材の材料として使う粘土の一種「ベントナイト」を用いた科学実験体験ブースの出展等により、たくさんの方とふれあい、NUMOや地層処分について知っていただくことができました。

今後も、全国各地で開催されるイベントに出展していきます。出展のご要望がありましたら、裏面下部に記載の連絡先までご連絡ください。



▶「経済産業省こどもデー」[8月1日(水)、2日(木)、経済産業省]

経済産業省主催のイベントで、日本原子力研究開発機構(JAEA)によるバーチャル地底探検コーナーと一緒に、地下について学べる展示等を行いました。



▶「女子中高生夏の学校」[8月10日(金)、国立女性教育会館]

独立行政法人国立女性教育会館(NWEC)主催のイベントに出展し、地層処分についての講義やNUMO職員によるキャリア相談を実施しました。

▶「丸の内キッズジャンボリー」[8月14日(火)～8月16日(木)、東京国際フォーラム]

東京国際フォーラム主催のイベントで、「みんなで考えよう！原子力発電のごみの処分」と題し、地層処分に関するクイズに挑戦していただきました。

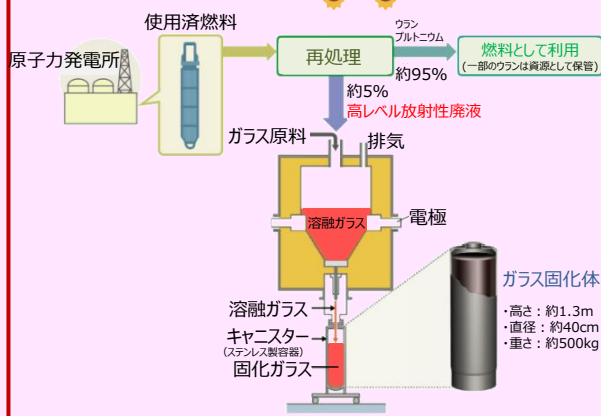


▶「未来を見据えた原子力オープンスクール」[8月18日(土)、19日(日)、東芝未来科学館]

一般社団法人 原子力学会 関東・甲越支部主催のオープンスクールに参加し、「ベントナイト粘土のふしぎ」と題した展示・体験コーナーを出展しました。



◆ Column ◆ ガラス固化体とは？

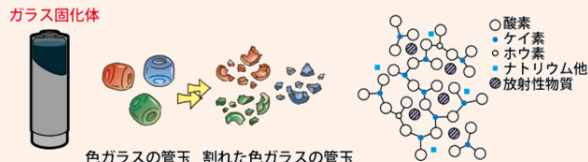


原子力発電所で使われた燃料(使用済燃料)を再処理し、ウランやプルトニウムを取り出した際に、再利用できない放射能レベルの高い廃液をガラス原料と高温で融かし合わせ、ステンレス製の容器(キャニスター)の中で冷やし固めたものをガラス固化体と呼びます。このガラス固化体は高レベル放射性廃棄物とも呼ばれています。

- よくいただくご質問 - ガラス固化体には、なぜガラスを使うのですか？

ガラス固化体にガラスを用いるのは、放射性物質を長期間にわたり、安定な状態で閉じ込めておくことができる材料だからです。ガラスは、主成分であるケイ素やホウ素等の原子が網目のような化学構造を形成していることから、大きさや性質の違うさまざまな成分を均質かつ安定に取り込むことができます。色ガラスはこの特徴を利用したもので、これと同じように、ガラス固化体においても放射性物質が網目のような構造に取り込まれます。色ガラスが割れたとしても、色の成分だけが流れ出すことがないのと同様、ガラス固化体が割れても、中から放射性物質だけが流れ出すことはありません。

また、ガラスはピーカーや試験管に用いられているように、水に溶けにくく化学的に安定しているという特徴があります。古代の遺跡からガラス製品が色彩をほとんど失わずに出土しているのは、ガラスが持っているこれらの優れた特徴によるものです。



ガラス固化体が全て溶けるまで7万年以上かかると考えられています。

●8月6日～9月18日

「特別企画 夏休みフォトコンテスト」を開催

NUMOを知っていただくきっかけのひとつとして、公式Instagramで「夏休みフォトコンテスト」を開催しました。ハッシュタグ「#グーモと夏休み」または「#グーモと一緒に」で投稿していただいた写真の中から優秀作品を選定するというもので、夏休みの思い出の写真など、たくさんのご応募をいただきました。

●8月9日～8月10日

「日本エネルギー環境教育学会」に参加

「次世代の地域や社会を展望するエネルギー環境教育」をテーマとした「日本エネルギー環境教育学会 第13回全国大会」に参加し、NUMOの出前授業の取り組みや、それに対する考察等を発表しました。

●8月22日～8月23日

「バックエンド部会 夏期セミナー」に参加

日本原子力学会のバックエンド部会が主催するセミナーに参加しました。「処分の信頼性、安全、技術連携・統合」をテーマに講演やポスターセッション等が行われ、NUMOからは、地層処分の技術マネジメントや対話活動について発表しました。

●8月27日～9月20日

「自治体の担当者向け事前説明」に参加



8月27日(月)～9月20日(木)に、全国各地域(10会場)で、資源エネルギー庁主催の自治体向け説明会が開催され、資源エネルギー庁から、高レベル放射性廃棄物の最終処分に係るこれまでの取り組みや今後の対話活動の方針等が説明されました。NUMOもこの説明会に参加し、全国での対話型説明会の開催に加え、広報ブースの出展や地層処分模型展示車「ジオ・ミライ号」を用いた各地での広報等、様々な形で広報活動を展開していることを紹介しました。



「ジオ・ミライ号」は全国各地にお伺いします！

「ジオ・ミライ号」は全国各地をまわる移動模型展示車です。

模型や映像で、地層処分について見て触って楽しく学んでいただけます。

出展のご要望がありましたら、NUMOホームページからお申し込みいただくか、一番下に記載の連絡先までご連絡ください。

<8月・9月の出展実績>

8月9～10日 : 山形大学 小白川キャンパス
 8月15日 : 刈羽村 ふるさと村祭り
 8月25～26日 : 東海村 原子力科学館
 9月1～2日 : つくばエキスポセンター
 9月8～9日 : シーモール下関
 9月24日 : 名張防災フェスタ

車内の様子



3Dシアター



地層の引き出し



●出展のお申し込み・当面の各地の出展予定等、詳細は、[NUMOホームページ「お知らせ・広報活動」](#)から「ジオ・ミライ号」ページをご覧ください！

ご案内

地層処分事業をより広く知っていただけるよう、皆さまへ様々な情報をお届けしています。



NUMOホームページ

地層処分に関して、皆さまからの疑問にお答えするFAQをはじめ、技術情報、イベント情報など、NUMOの最新の取り組みを紹介しています。



NUMOメールマガジン



月に2回程度、NUMOや地層処分に関する最新情報をお届けしています。

